

平成19年度 第1回技術委員会の報告

下記のように本年度第1回の技術委員会を開催しました。参加者は22名でした。

1. 日 時：平成 19 年 8 月 10 日（金） 15:00 ~ 18:00

2. 場 所： KKR 札幌（7F 北斗）
住所・・・札幌市中央区北4条西5丁目
TEL・・・011-231-6711

3. 議 題

1) 話 題 提 供

日特建設株式会社 札幌支店 山田浩氏
『グラウンドアンカ - の耐久性について』
北海道三祐株式会社 佐々木裕一氏
『斜面对策工事における諸問題』

話題提供は上述2編についてご報告頂きました。

では、1980年代以前に施工された、いわゆる旧タイプアンカーにおける問題点に関する話題です。近年のアンカーは性能が向上しておりますが、旧タイプは、防水性が低いことにより破断等の変状を起こす事例があることから、診断方法・維持管理方法に関する現状をご紹介いただきました。

では、法面工の施工現場において、実際の地層が調査設計時に想定されていた地層と異なっていた事例に関する話題です。本件では、試掘において崖錐層厚が想定より厚いことが判明し、追加調査を行い対策工の変更を行った事例についてご紹介していただきました。

どちらも非常に興味深い内容であったことで、質疑応答も複数に及び時間をややオ - バ - しての意見交換となりました。今後も、技術委員会では地すべり技術に関する十分な時間を設け、討論を重ねていきたいと考えております。

2) 活動内容について

前回の委員会では、アンケート調査票の趣旨・方向性について議論を行い、今回の委員会までに各委員にアンケート調査票の項目について検討していただきました。今回の委員会では、アンケート調査票を完成すべく、各ワーキンググループ（調査・解析グル - プ、設計・施工グル - プ）に分かれて議論を行いました。

この他、アンケート調査に関する組織編成について、一部変更も含めて別図に示すような体制で行うことや、H20年4月に開催される30周年記念行事で発表する中間報告に向けての取り組み予定についても確認しました。

なお、次回委員会は、11月下旬頃を予定し企画することで合意しました。



図 - 1 『地すべり調査技術・設計・対策技術に関するアンケート調査』の組織編成

委員会終了後は、『北前そば高田屋 - 札幌市中央区北 3 西 3 シグマ北 3 条ビル B 1 F』他にて意見交換会を開催し、深夜まで活発な議論、熱唱? がなされました。

技術委員会より参加者の募集

技術委員会は現在、有志31名ほどで構成され、地すべりに関する調査・解析、設計・施工などの研究、討論を活発に行っております。技術委員会の活動に興味があり、委員としての参加を希望なされる方は、下記連絡先まで FAX 又はE-mailにてご一報ください。また、本委員会は毎年3回以上の実施を目標とし企画を行っております。委員会(北海道地すべり学会HP等で事前に掲示致します)は委員以外の方でも参加は自由ですので、数多くの方のご参加をお待ちしております。

[北海道地すべり学会 技術委員会 事務局]

連絡先 株式会社 シビテック
 地質部 柴田 純
 TEL 011-816-3005
 FAX 011-816-2562
 E-mail j.shibata@civitec.co.jp